

※仕様書のすべての項目に漏れがないよう記入してください。

依頼試験仕様書（小型容器・ファイバ板箱）

試験成績書に記載する		会社名	XXXX 株式会社		①
		住所	XXXXXXXXXXXXXXXXXX		
試験名	危険物容器及び包装（小型容器）の性能試験	試験基準	HK (UN)		
申込区分	新規	日本船用品検定協会の図面確認： 未 ②			②
	継続	仕様変更： 無 / 有（仕様書備考欄に変更内容記入）			
日本船用品検定協会申請情報	東京 / 大阪 / 福岡 支部		XX XXX様		
	工場調査予定日：		20XX年 XX月 XX日		
	(継続の場合) 製造年月日：		年 月 日まで		
日本船用品検定協会への成績書直送希望		しない / する (電子ファイル) / 書面 ④			
容器仕様	品名	ファイバ板箱 ・ 記号 [4G]			
	表示	[un 4G / Y21 / S / YR / J / HK / XXX] ⑤			
	型式	XXXX-XX	製造年月(試験品)	20XX年 XX月 ⑥	
	製造者	組み上げ	XXXX株式会社		
		ファイバ板箱	株式会社XXXX ⑦		
	許容容量	40L (最大内容積) ⑧			
	許容正味質量	18.78kg (充填物の最大質量) ⑨			
容器質量(風袋)	2.0±0.1kg (緩衝材等を含む外装容器質量) ⑩				
最大許容総質量	21kg ⑪				
充填物質	輸送する物質名	リチウムイオン電池 ⑫	種類	固体	
	国連番号	UN3480	容器等級	I / II / III ⑬	
	試験時の代替物質	物質名： ダミー板 / 比重： - ⑭			
試験品個数	充填品 (8) 個 + 予備 (1) 個 + 非充填品 1 個 = 合計 (10) 個 ⑮				
ファイバ板箱	段ボールの種類	両面段ボール / 複両面段ボール / 複々両面段ボール ⑯			
	胴部接合の方法	接着剤 / ステイプル / その他 () ⑰			
	ファイバ板の吸湿度試験成績書番号	XX-XXX ⑱			
備考					

(注) 上記の内容は、試験成績書に記載されますので正確にお書き下さい。

記入例	
①	試験成績書に記載する会社名及び住所をご記入ください。
②	__欄に○を付けてください。
③	__欄に○を付けてください。 担当者のお名前をご記入ください。(不明の場合は無記名) 工場調査予定日と、継続の場合は製造期間を西暦でご記入ください。
④	__欄に○を付けてください。 日本船用品検定協会へ成績書を直接弊社から送ることも可能です。
⑤	HKへの申請書と同じものをご記入ください。
⑥	型式・製造年月(試験品)をご記入ください。
⑦	各製造業者名をご記入ください。
⑧	許容容量 = 試験体容器の最大内容積。
⑨	許容正味質量 = 内容物の質量
⑩	容器質量(風袋)±公差をご記入ください。 ※設計公差ではないため、大きめにすることを勧めます。
⑪	最大許容総質量(小数点以下切り上げ) = (許容正味質量) + (容器質量(風袋) (公差の最大を考慮))
⑫	輸送する物質名・国連番号をご記入ください。
⑬	__欄に○を付けてください。
⑭	試験時の代替物質名・比重をご記入ください。
⑮	試験品個数をご記入ください。
⑯	__欄に○を付けてください。
⑰	__欄に○を付けてください。 「その他」の場合は () 内にご記入ください。
⑱	ファイバ板の吸湿度試験成績書番号をご記入ください。